

第101回番組審議会

(株)中国コミュニケーションネットワーク

FMちゅーピー 76.6MHz

開催年月日 令和3年6月10日(木) 午前11時

開催場所 中国経済クラブ(中国新聞社8階)

委員：総数7人

出席委員(敬称略)

委員長 川島 宏治(ちゅピCOM取締役)

委員 山根 恵子(ロジテックベベ経営)

委員 中川 圭(乳がん患者友の会きらら理事長)

委員 安達 伸生(広島大大学院整形外科学教授)

委員 中村 靖富満(やまだ屋社長)

委員 向井 良(弁護士)

委員 木ノ元陽子(中国新聞社文化担当部長)

会社側出席：

社長兼放送局長

小野 浩二

顧問

小見山 文男

制作担当

堀部 正拓

議題

一、開会挨拶および経営報告

一、番組試聴「EACH LIFE」

一、ご意見・ご感想

一、訂正や苦情の報告と前回以降の業務報告

◆「EACH LIFE (イーチャライフ)」(3月9日放送分)

新型コロナウイルス禍の中、広島市中区の繁華街で奮闘する飲食店のオーナーにインタビューしていく番組です。昨年12月から今年3月まで放送。ナビゲーターはシンガーソングライターの月山翔雲が担当しました。この日はビールスタンドなどを経営する重富寛さんにインタビューしました。

<番組に対する委員の意見・感想>

・インタビューされた重富さんとは、40年近い付き合いだ。若いころから街の活性化にずっと取り組んでこられた方だ。トークが非常にうまい。新型コロナ禍で愚痴ばかり聞くのも嫌なので、大変な中で頑張っているという話を聞くほうがすべて落ち着いたあとで店に行きたいとリスナーは思うだろう。そういう意味では、言うことのない番組だ。流川のベテランのママなどに話を聞くと、時代を反映したような客のエピソードなどが必ずある。そういう面白いトークをぜひ引き出してほしい。

・有名な店の方なので名前は知っている。これまでの人生などの話に聞き入ってしまった。若い人が新しいことに挑戦していくヒントになるような番組なのでとても良いと思う。新型コロナ禍で若者が奮い立つような内容にしてほしい。

・新型コロナの影響で飲食業はどこも大変だ。応援する番組があるのはとても良いことだと思う。この番組が放送されているのを何度か聞いた。アルバイトで業界に入って、ママから店を継いだというような話が、たどたどしいトークではあったが放送されていた。業界のことについて知らないので大変面白かった。重富さんはお話が上手だが、話し慣れてない方を相手にトークを引き出すのも大変だと思った。

・重富さんも月山さんも話が聞きやすくとても上手だった。BGMもおしゃれで、重富さんの学生時代からの話や地元への思いがよく伝わった。新型コロナの話は暗くなりがちだ。その中でYoutubeを活用して街の魅力を発信しているなど、前向きな内容だった。

・番組からゲストの誠実で快活な人柄がにじみ出ている。飲食業界の方々は大変厳しい状況だと思う。この中で地域を支え人や文化を支えたいという思いを聞いた。中四国一の歓楽街をぜひ支え続けてほしいと思った。

・声も語り口もストーリーもよかった。生ビールへの思いもとても強く聞きごたえがあり、1回の出演だけでなくもっと話を聞きたいくらいだった。番組の最後にFacebookを使った番組の宣伝について触れていたが、SNSで広報するのであれば番組の冒頭などでも触れるなどぜひ検討してもらいたい。前半で触れてもらえれば番組を聞きながらスマートフォンで検索してもらってもできるはずだ。

・お二人ともトークがうまくて自然と引き込まれた。重富さんは街づくりの仕掛人で、文化としてのビールを語る数少ない方だ。ただ、トークが大半を占める番組のつくりを聞いていて、インタビューする人材によっては構成が難しくなるのではないかと感じ

た。この回はよかったが、トークに慣れていない人の話を 30 分聞くのはきついと思う。
そのあたりの工夫や苦勞についても知りたかった。

◆訂正や苦情の報告と前回以降の業務報告

▽番組での訂正やリスナーからの番組に関する苦情についてはありませんでした。

▽5月20日 大雨による洪水を避けるために国土交通省太田川河川事務所が高瀬堰の水を放流し、緊急割込み放送で増水中の川に近づかないよう呼びかけた。

以上